

事務事業名	健康増進計画・食育推進計画策定進行管理事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5216							
			所属課室	健康増進課		課長名	櫻田 正文							
			所属担当	健康企画担当		担当者名	萩野 尚子							
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
		18	健康づくりの推進		04	介護	0	4	0	1	0	2	1	4
政策		31	保健・医療の推進	事業区分	☒ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金									
施策														
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度)			法令根拠										
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 合併後、平成16年度に第1次健康かがやきプランを策定した。第1次計画が21年度に3年間の計画期間が終了。平成20年度、21年度の2年間をかけて、次期計画となる第2次健康増進計画を策定。第1次食育推進計画を策定した。重点目標として「食育の推進」「運動不足の解消」「こころの健康増進」を掲げているが、今後はさらに計画の推進を図る。南アルプス市健康づくり推進協議会、南アルプス市健康を考える会の研修会を開催する。				事業費の主な内訳 (22年度)									
					項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)			
					講師謝金		94							
					消耗品		10							
					賄材料		8							
				リース料		2								
								計		114				

1 現状把握 (DO)

1 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	健康かがやきプランの推進、健康を考える会委員を対象とした食事、運動、心の健康づくりの研修会開催や健康づくりフェアでこころの健康づくり講演会を開催。
23年度活動予定	健康かがやきプランの推進、健康を考える会委員が健康かがやきプランを理解し、それぞれの立場で実践できるよう、研修会を開催する。
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
1) 健康を考える会委員 2) 各種団体 (健康を考える会委員が所属している組織、団体) 3) 全市民	
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
1) 自らの健康増進のため、日常生活において、食や運動、こころ等の健康づくりに取り組みことができる。 2) 各種団体において健康づくりに関連する事業に取り組むことができる。 3) 健康づくりに関する事業に参加して健康づくりに関心をもつ。	
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	
市民が生涯をととして健康でいきいきと健やかな生活を送ることができる。	

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 健康を考える会、健康づくり推進協議会研修会回数	回
イ 健康を考える会、健康づくり推進協議会研修会参加延べ人数	人
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 健康を考える会委員数	人
イ 健康を考える会委員が所属する団体数	団体
ウ 総人口(4月1日現在)	人
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 日常生活において運動や食事等の健康づくりに取り組んでいると答えた委員の割合	%
イ 自身自身が所属する団体で健康づくりに関連した取り組みを行なうことができたと答えた委員の割合	%
ウ 健康づくりに関心を持てたと答えた参加者の割合	%
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 健康のために何らかの運動をしていると答えた市民の割合	%
イ 「ストレスを解消できている」と答えた市民の割合	%

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	7,181	114	182	1,010	1,010	1,010	
	事業費計 (A)		千円	7,181	114	182	1,010	1,010	1,010	0
	人件費	正規職員従事人数	人	18	28	7	7	7	7	
		延べ業務時間	時間	506	264	200	200	200	200	
		人件費計 (B)	千円	2,257	1,178	792	792	792	792	0
		(A)+(B)		千円	9,438	1,292	974	1,802	1,802	1,802
活動指標		アイウ	回 人		6.0 197.0	6.0 240.0	6.0 240.0	6.0 240.0	6.0 240.0	
対象指標		アイウ	人 団体 人	111.0 93.0 72,869.0	110.0 93.0 73,014.0	46.0 38.0 72,854.0	46.0 38.0	46.0 38.0	46.0 38.0	
成果指標		アイウ	% % %	15.0 42.0	15.0 42.0	15.0 42.0	15.0 42.0	15.0 42.0	15.0 42.0	
上位成果指標		アイ	% %	30.0 18.0	30.0 18.0	30.0 18.0	30.0 18.0	30.0 18.0	30.0 18.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成16年度に第1次健康増進計画が策定され、平成17年度から計画の推進と進行管理を行なっている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	第1次健康増進計画策定時は、旧町村の色が濃かったように思うが、合併して8年が過ぎ、以前に比べ地区同士の垣根が低くなったのではないかと。
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	健康かがやきプランのことがよく理解できた。組織の代表で委員になっているが、今後どう行動を起こしていくか考えていきたい。計画の推進は行政がするのではなく、市民が一緒になって行なう事が望ましいと思う。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ (内容↓) ☐ 取り組みしていない ⇒ (理由↓)
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	事業運営に費やした職員数と従事時間を経年で明確にし、活動方法の見直しを行なった。考える会を担当する職員が打ち合わせ会をもち、改善点や対策を話し合った。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	平成22年度から、活動は市一本化とし、健康を考える会委員全員を対象として研修会等を行なうようにした。

事務事業名	健康増進計画・食育推進計画策定進行管理事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由 ↓] 健康かがやきプランのめざす姿は「健康で豊かな人生を実現するために一人ひとりが実践し、みんなが支えあふり」としており、総合計画の「健康づくりの推進」の施策と結びついており、意図も上位目的と結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由 ↓] 健康増進法、食育推進基本法において、地方公共団体の責務については、健康増進法第3条、食育推進基本法第10条、市町村計画策定に関しては、健康増進法第8条、食育推進基本法第18条に市町村の責務は明記されている。法律に基づいた計画策定と進行管理においては公共関与は必要である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 適切である ⇒ [理由 ↓] 健康を考える会委員については、各種団体の代表、関係機関職員、公募等で構成されているが、地域の中で計画を推進していくために、構成委員の見直しが必要。計画推進のために組織を縮小化し、活動の効率化を図る。健康を考える会は、市民全員の健康づくりをめざした活動を行っており妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由 ↓] 組織・団体だけでなく、市民個人への働きかけを行い、計画の周知を図っていくことで、成果を期待できるのではないか。また、健康を考える会の組織の見直しを行なう事で、より効率的に計画の推進ができるのではないか。
	⑤類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入 ↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由 ↓] ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容 ↓] 計画の進行管理を廃止することで市民の健康づくりの推進や施策の評価が疎かになり、優先順位をつけて、効率的に事業をすすめることができなくなる。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒ [理由 ↓] 計画は継続していくものであるため、進行管理も継続していく必要がある。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 計画を推進するにあたり、行政が全ての健康づくりに関する事業を予算化するのではなく、「行政ができること」「市民ができること」を明確にして、市民ができることは率先して地域の中で取り組んでいただく。そのための支援を行なう。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 平成21年度までは、各地区健康を考える会に職員が密に関わりながら事業を展開してきたが、平成22年度から市一本化にして事業を展開したため、大幅に人件費の削減ができた。これ以上の削減は難しいと思われる。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由 ↓] 健康かがやきプランの推進を担う健康を考える会の委員は特定の人だが、健康かがやきプランは全市民を対象としているため、公平性は保たれる

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	健康関係団体 (健康を考える会・母子愛育会・食生活改善推進委員会・生命の貯蓄体操普及会) など活用して、より多くの市民に健康づくりにたいしての理解を求めていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 成果向上 (有効性④の結果) ☐ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☒</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☒	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☒	☐	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①		成果優先度評価結果	①																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑫																					